

令和4年1月4日
気象庁大気海洋部

配信資料に関するお知らせ

～ 大阪レーダーの運用休止について ～

大阪レーダーは、機器調整のため、下記のとおりレーダーの運用を休止しますのでお知らせします。

記

1 運用休止期間（予定）

1月6日（木）08時30分～ 7日（金）19時30分

- ・運用休止期間は、現時点での計画であり、天候等の都合により変更する場合があります。
- ・運用休止・再開にあたり、レンラク報による周知を行います。

2 運用休止期間中のレーダーデータへの影響

当該レーダーの観測処理範囲（別紙1）では、降水エコーが観測されない、又は降水エコーが実際より弱く観測されることがあります。影響を受ける観測資料及びプロダクトは別紙2のとおりです。

以上

問い合わせ先：

気象庁大気海洋部観測整備計画課レーダー運用係

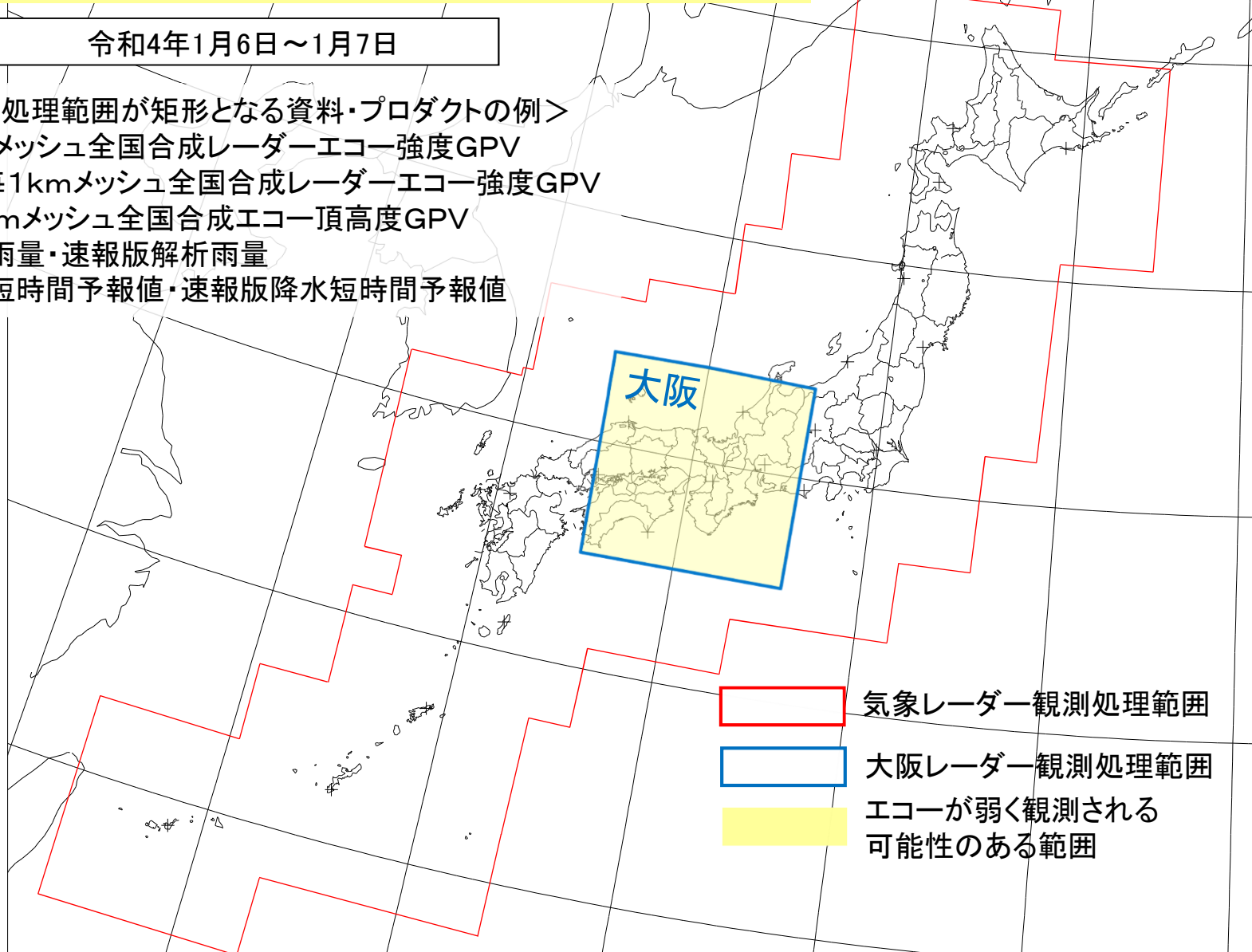
電話：03-6758-3900 内線 4322

気象レーダーの観測処理範囲(500km×500km)

令和4年1月6日～1月7日

＜観測処理範囲が矩形となる資料・プロダクトの例＞

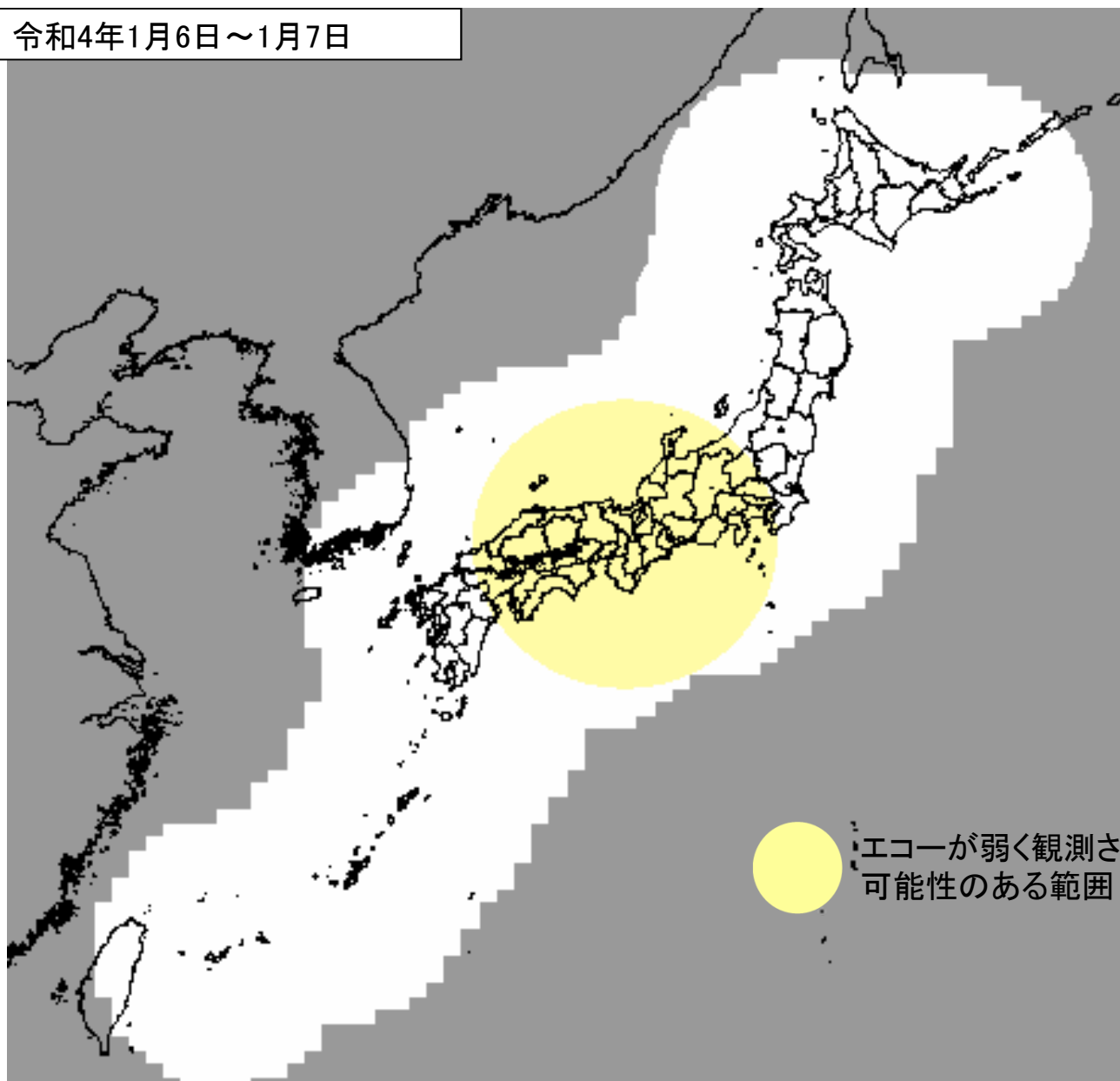
- ・1kmメッシュ全国合成レーダーエコー強度GPV
- ・5分毎1kmメッシュ全国合成レーダーエコー強度GPV
- ・2.5kmメッシュ全国合成エコー頂高度GPV
- ・解析雨量・速報版解析雨量
- ・降水短時間予報値・速報版降水短時間予報値



高解像度降水ナウキャストの処理範囲

別紙1-2

令和4年1月6日～1月7日



レーダーの運用休止により影響を受ける観測資料は下記のとおりです。

記

影響を受ける観測資料

- ・ 1 k mメッシュ全国合成レーダーエコー強度G P V
- ・ 5分毎1 k mメッシュ全国合成レーダーエコー強度G P V
- ・ 2.5 k mメッシュ全国合成エコー頂高度G P V
- ・ レーダー毎極座標レーダーエコー強度G P V
- ・ レーダー毎極座標ドップラー速度G P V

また、運用休止に伴いこれらの観測資料を用いて作成しているプロダクトの品質等に影響があります。なお、影響があるプロダクトは以下のとおりです。

- ・ 推計気象分布（天気）
- ・ 高解像度降水ナウキャスト
- ・ 降水ナウキャスト
- ・ 解析雨量・速報版解析雨量
- ・ 降水短時間予報値・速報版降水短時間予報値
- ・ 解析積雪深・解析降雪量
- ・ 降雪短時間予報値
- ・ 降水 15 時間予報値
- ・ 竜巻発生確度ナウキャスト
- ・ 雷ナウキャスト
- ・ 土壌雨量指数
- ・ 流域雨量指数
- ・ 表面雨量指数
- ・ 土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）
- ・ 洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）
- ・ 浸水キキクル（大雨警報（浸水害）の危険度分布）
- ・ 地上気象実況報・新形式地域気象観測報※

※レーダー休止に伴い以下の地方気象台における雷の自動判別が行われなくなります。

運用休止するレーダー	自動判別が行われなくなる地方気象台
大阪レーダー	京都、神戸、奈良、和歌山

以上